

県立広島大学専任教員募集要項

1 職名及び人員 地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース
教授または准教授 1名

2 公募分野 博物館学、日本文化史

3 担当予定授業科目及び担当業務

(1) 授業科目 (学部)

【地域創生学部地域創生学科】

全学共通教育科目：「ひろしま理解 (オムニバス)」等

地域創生学科専門科目：「日本文化史論」「日本文化史論研究」「文化継承入門 I (オムニバス)」「博物館概論」「博物館経営論」「博物館実習」「卒業論文 (専門演習) I・II」「地域課題解決研究 I・II」等

【人間文化学部国際文化学科】

専門科目「日本文化史論特論」「日本文化史論演習」「卒業論文演習 I」「卒業論文演習 II」「卒業論文」等

(2) 授業科目 (大学院・修士課程)

【総合学術研究科人間文化学専攻】

「日本文化史特論 B」「日本文化史研究 B I」「日本文化史研究 B II」「社会文化演習 I・II」等
※ 別途、資格審査により担当の有無を決定します。

(3) 学内業務

入試関連業務、チューター等学生支援に関わる業務、各種委員会委員等

(4) 地域・産学連携業務

公開講座講師等

4 応募資格等

次の各号をすべて満たす者

- (1) 博士の学位を取得していること、またはこれに準ずる研究業績を有していること。
- (2) 博物館学、日本文化史の分野で十分な研究業績を有し、この分野の教育及び研究指導ができること。大学院 (修士課程) 担当教員に相当する研究業績があることが望ましい。
- (3) 学芸員資格を有し、博物館等での実務経験を有すること。また、博物館学関係科目の教育経験 (非常勤講師でも可) があることが望ましい。
- (4) 他の専任教員と協力して学内業務へ積極的に関わり、本学教員としての責務を果たすこと。
- (5) 自身の専門性を生かしながら、歴史遺産や文化財等に関わる生涯教育やまちづくりの発展に貢献し、積極的に役割を果たすこと。
- (6) 学校教育法第9条各号に規定する欠格事由のいずれにも該当しないこと。

5 応募締切日 令和6年11月8日(金) 17時00分(必着)

6 採用予定日 令和7年4月1日

7 提出書類

(1) 履歴書(別紙様式1) 1通

(2) 教育研究業績書(別紙様式2) 1通

(3) 著書又は主要論文(別刷又はコピー可) 3編以内

※(2)の教育研究業績書の番号を○で囲むこと。

(4) 本学での教育・研究に対する抱負(A4、1,000字以内、様式任意) 1通

(5) 研究費(外部資金)の取得状況(別紙様式3) 1通

※代表、分担を明示し、取得順に記載のこと。

(6) 応募者の連絡先(住所、電話番号、E-mailアドレス)を
明記した書類(様式任意) 1通

◎ 上記(1)、(2)については、別紙「応募書類作成に当たっての留意事項」に留意して作成してください。

◎ 必要に応じて追加資料の提示を求める場合があります。

◎ 指定様式については、本学ホームページ(<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/>)からダウンロードしてください

8 審査方法

○ 本学教員選考基準に基づき、書類審査及び面接を行います。

○ 面接対象者には、別途面接実施日を連絡します。

○ 面接に併せて、担当予定授業科目の模擬講義と、本学での教育・研究に対する抱負などについてプレゼンテーションを求め、質疑応答を実施する場合があります。

○ また、必要に応じて、二次面接を実施します。

○ 面接に要する費用は支給しません。

※ 面接は、面接者の自宅等からビデオ通話システム(Zoom等)を利用するオンライン形式とする場合があります。

9 応募書類提出先・問い合わせ先

〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1-71

県立広島大学本部総務課 総務・人事係

E-mail: honbusoumu@pu-hiroshima.ac.jp

※ 応募書類は、封筒に「地域創生学部専任教員(博物館学、日本文化史)応募書類在中」と朱書し、簡易書留により送付してください。なお、問い合わせはメールでお願いします。

10 勤務地

県立広島大学広島キャンパス

1 1 その他

- (1) 応募書類は原則として返却しません。
- (2) 応募書類に記載された個人情報は、選考目的以外には使用しません。
- (3) 本学は広島県公立大学法人が設置する大学です。
- (4) 本学は、令和2年4月に学部再編を行いました。旧学部学科（人間文化学部国際文学科）が存続する間は両学部の兼担となります。また、採用後、組織再編等により、担当科目等が変更する場合があります。
- (5) 本公募においては、本学の教育・研究について同等の業績を有する場合、ジェンダー平等の観点に配慮した上で、公正な選考を行います。